



## 2021年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年9月14日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク

上場取引所 東

コード番号 7614

URL <http://www.om2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大越 勤

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 澄川 新一

TEL 03 (5405) 9541

四半期報告書提出予定日 2020年9月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年1月期第2四半期の連結業績（2020年2月1日～2020年7月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第2四半期	14,364	△1.2	614	45.7	779	54.7	353	7.5
2020年1月期第2四半期	14,539	△1.4	421	△18.7	504	△5.5	328	19.8

(注) 包括利益 2021年1月期第2四半期 339百万円 (18.8%) 2020年1月期第2四半期 285百万円 (△9.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第2四半期	52.41	—
2020年1月期第2四半期	48.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年1月期第2四半期	17,028	13,445	79.0	1,997.01
2020年1月期	16,471	13,285	80.7	1,967.93

(参考) 自己資本 2021年1月期第2四半期 13,445百万円 2020年1月期 13,285百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2021年1月期	—	0.00	—	—	—
2021年1月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2021年1月期の連結業績予想（2020年2月1日～2021年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△3.2	1,120	5.1	1,270	2.5	700	3.1	103.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年1月期2Q	7,335,634株	2020年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	2021年1月期2Q	602,919株	2020年1月期	584,453株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年1月期2Q	6,738,170株	2020年1月期2Q	6,751,181株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う世界的な経済活動の停滞により、極めて厳しい状況となっております。コロナ禍への政府の対応として「緊急事態宣言」が発令される中、個人の外出や消費は大幅に減退し、企業活動は従業員の安全への配慮を優先するとともに、需要の縮小や供給不安など、社会及び経済活動全般に先行きが不透明な状況となりました。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましては、取り扱う商品が国民の毎日の生活にとって欠かせない必需品であることから、大部分の店舗での営業は継続されたものの、商業施設等の一部店舗の休業や営業時間の短縮など負の影響も発生し、依然として続く労働力不足や人件費の上昇、物流費の増加等に加え、更に不透明な状況が続いております。

このような中で当社グループは、政府や自治体による新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関わる様々な要請に応えるとともに、従業員の健康と安全管理の徹底を最優先したうえで、雇用を維持しお客様のニーズに応えるべく様々な施策を実行しております。小売部門においては、対策本部を設置のうえ、意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

外食事業にあっては、4月に入ってから緊急事態宣言発出以降、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が休業を余儀なくされる事態となりましたが、5月後半の同宣言解除以降、営業時間の制限など制約はあるものの、全店での営業を再開しております。今後とも当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定していますが、最優先すべきはお客様と従業員の安全との前提のもと、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等店舗における感染予防策を徹底した上で営業を継続していく方針です。なお、上記休業に伴う損失は店舗休止等損失として計上しております。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高143億64百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は6億14百万円（同45.7%増）、経常利益は7億79百万円（同54.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は店舗休止等損失2億16百万円等の計上により3億53百万円（同7.5%増）となりました。

#### 「食肉等の小売業」

当第2四半期連結累計期間の開店は1店、閉店は5店であり、その結果、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は141店になりました。内訳は食肉小売店127店（前期末比2店減少）、惣菜小売店14店（同2店減少）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、新型コロナウイルス感染症対策での外出自粛等により家庭需要が増大したことなどから、売上高は118億99百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益は9億61百万円（同127.3%増）となりました。尚、本事業を管轄する子会社(株)オーエムツーミートの当第2四半期連結累計期間は2020年2月1日～2020年7月31日となっております。

#### 「外食業」

当第2四半期連結累計期間の開店はなく、閉店は4店であり、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は44店になりました。当セグメントを取り巻く環境は、上述の通り、新型コロナウイルス問題の影響を強く受けたこと等から、売上高は25億45百万円（前年同期比38.1%減）、営業損失は1億71百万円（前年同期は1億58百万円の営業利益）となりました。尚、本事業を管轄する子会社2社の当第2四半期連結累計期間は以下となっております。

(株)オーエムツーダイニング(ステーキレストラン事業) 2019年12月1日～2020年5月31日

(株)焼肉の牛太(焼肉・しゃぶしゃぶ事業) 2020年1月1日～2020年6月30日

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	111億23百万円（前期末比+4.7%）
固定資産	59億5百万円（同+1.0%）
総資産	170億28百万円（同+3.4%）
流動負債	30億59百万円（同+11.5%）
固定負債	5億23百万円（同+18.6%）
純資産	134億45百万円（同+1.2%）
負債・純資産合計	170億28百万円（同+3.4%）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月12日の決算短信で公表致しました2021年1月期連結業績予想の数値は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がもたらす連結業績に与える影響が小売事業と外食事業に相反する影響を与えていることなどから、現時点において合理的に算定することが困難であるため変更しておりません。今後、合理的な算定が可能となり、開示が必要であると判断された時点で、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,212,999	8,980,635
受取手形及び売掛金	386,751	156,764
テナント未収入金	1,301,445	1,200,222
商品及び製品	404,378	420,308
原材料及び貯蔵品	37,627	32,784
未収入金	164,176	226,288
その他	118,410	106,233
貸倒引当金	△952	△32
流動資産合計	10,624,837	11,123,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,679,527	3,552,989
減価償却累計額	△1,922,014	△1,946,601
建物及び構築物(純額)	1,757,512	1,606,387
機械装置及び運搬具	429,094	439,008
減価償却累計額	△279,975	△296,218
機械装置及び運搬具(純額)	149,119	142,789
土地	527,407	527,407
その他	1,896,330	1,893,683
減価償却累計額	△1,429,361	△1,477,143
その他(純額)	466,968	416,540
減損損失累計額	△601,981	△570,965
有形固定資産合計	2,299,025	2,122,158
無形固定資産	108,924	111,028
投資その他の資産		
投資有価証券	2,028,601	2,125,462
長期貸付金	56,339	50,993
退職給付に係る資産	117,788	117,228
繰延税金資産	164,464	350,754
敷金及び保証金	1,049,206	1,010,392
その他	35,303	30,967
貸倒引当金	△13,195	△13,195
投資その他の資産合計	3,438,509	3,672,603
固定資産合計	5,846,459	5,905,790
資産合計	16,471,297	17,028,997

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,621,081	1,663,044
1年内返済予定の長期借入金	—	4,340
未払金	345,974	300,505
未払法人税等	161,591	332,931
賞与引当金	69,452	211,234
その他	545,766	547,869
流動負債合計	2,743,866	3,059,924
固定負債		
長期借入金	—	95,660
退職給付に係る負債	38,450	40,514
役員退職慰労引当金	64,752	66,594
資産除去債務	261,493	258,512
その他	76,860	62,506
固定負債合計	441,557	523,787
負債合計	3,185,423	3,583,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,391,999	1,391,999
利益剰余金	11,880,254	12,071,383
自己株式	△576,698	△594,654
株主資本合計	13,162,254	13,335,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,370	100,842
退職給付に係る調整累計額	18,248	9,014
その他の包括利益累計額合計	123,618	109,856
純資産合計	13,285,873	13,445,284
負債純資産合計	16,471,297	17,028,997

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年2月1日 至 2019年7月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年2月1日 至 2020年7月31日）
売上高	14,539,457	14,364,440
売上原価	8,692,027	8,791,274
売上総利益	5,847,430	5,573,165
販売費及び一般管理費	5,425,717	4,958,668
営業利益	421,712	614,497
営業外収益		
受取利息	493	425
受取配当金	1,086	1,046
持分法による投資利益	39,323	111,010
家賃収入	5,206	2,046
協賛金収入	23,222	33,009
受取手数料	479	459
その他	13,068	17,726
営業外収益合計	82,880	165,722
営業外費用		
支払利息	40	46
不動産賃貸原価	161	161
その他	377	375
営業外費用合計	579	583
経常利益	504,013	779,636
特別利益		
受取補償金	31,200	3,220
補助金収入	—	466
店舗売却益	—	10,000
特別利益合計	31,200	13,686
特別損失		
有形固定資産除却損	7,969	4,646
減損損失	9,597	43,847
店舗閉鎖損失	1,904	10,299
店舗休止等損失	—	216,653
特別損失合計	19,471	275,447
税金等調整前四半期純利益	515,742	517,875
法人税、住民税及び事業税	189,387	352,524
法人税等調整額	△2,288	△187,806
法人税等合計	187,098	164,718
四半期純利益	328,643	353,157
親会社株主に帰属する四半期純利益	328,643	353,157



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
四半期純利益	328,643	353,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,916	△5,001
退職給付に係る調整額	△169	△1,050
持分法適用会社に対する持分相当額	△49,804	△7,710
その他の包括利益合計	△43,058	△13,762
四半期包括利益	285,585	339,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285,585	339,394

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	515,742	517,875
減価償却費	219,608	205,676
減損損失	9,597	43,847
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,812	△920
受取利息及び受取配当金	△1,580	△1,471
支払利息	40	46
持分法による投資損益(△は益)	△39,323	△111,010
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△345	△1,045
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,951	2,064
賞与引当金の増減額(△は減少)	38,374	141,782
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,980	1,841
有形固定資産除却損	7,969	4,646
受取補償金	△31,200	△3,220
補助金収入	—	△466
店舗売却益	—	△10,000
売上債権の増減額(△は増加)	159,252	331,210
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,440	△11,087
仕入債務の増減額(△は減少)	25,946	41,962
その他	56,837	△84,780
小計	965,478	1,066,951
利息及び配当金の受取額	1,580	1,471
利息の支払額	△40	△46
法人税等の支払額	△260,714	△175,779
補償金の受取額	31,200	3,220
補助金の受取額	—	466
営業活動によるキャッシュ・フロー	737,504	896,283
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△188,220	△93,316
有形固定資産の売却による収入	—	39,396
無形固定資産の取得による支出	△7,449	△8,281
投資有価証券の取得による支出	△507	△472
短期貸付けによる支出	—	△1,280
長期貸付金の回収による収入	7,025	5,346
資産除去債務の履行による支出	△21,328	△25,532
敷金及び保証金の差入による支出	△5,135	△8,189
敷金及び保証金の回収による収入	37,134	47,003
その他	△4,715	△3,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	316,803	△49,072
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	100,000
自己株式の取得による支出	—	△17,955
配当金の支払額	△162,171	△161,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	△162,171	△79,574
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	892,135	767,636
現金及び現金同等物の期首残高	6,872,750	7,912,999
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,764,885	8,680,635

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループの属する業界について、新型コロナウイルス感染症により今後も営業活動に影響があるものと見込んでおります。ただ、このような状況は、2020年末に向けて徐々に正常化し、2021年より新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の状況に概ね戻ると仮定し、固定資産の減損等の会計上の見積りを行っております。なお、この仮定は不確実性が高く、収束遅延により影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年2月1日 至2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,455,256	4,084,200	14,539,457	—	14,539,457
セグメント間の内部売上高又は 振替高	41,892	25,830	67,722	△67,722	—
計	10,497,148	4,110,030	14,607,179	△67,722	14,539,457
セグメント利益	423,185	158,774	581,960	△160,247	421,712

(注) 1. セグメント利益の調整額△160,247千円は、セグメント間取引消去△39,192千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△121,055千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備等の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」6,232千円、「外食業」3,365千円です。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年2月1日 至2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,845,099	2,519,341	14,364,440	—	14,364,440
セグメント間の内部売上高又は 振替高	54,414	26,061	80,475	△80,475	—
計	11,899,513	2,545,402	14,444,915	△80,475	14,364,440
セグメント利益又は損失(△)	961,750	△171,640	790,110	△175,613	614,497

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△175,613千円は、セグメント間取引消去△51,714千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△123,899千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが継続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備等の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」25,235千円、「外食業」18,612千円です。